

# 減量アイデア

手軽にできる  
楽しくできる



## フリーマーケット・バザーを活用

● 出産をきっかけに環境保全やごみ問題に関心を持つようになりました。子育て中のため社会から少し離れています。自分にごきなことがないか考えています。子ども服やバッグなど不用になったものは知人に譲ったり、バザーやフリーマーケットを利用してします。市のリサイクル情報誌「り・ぼ・ん」<sup>(\*)</sup>も活用しています。

子どもたちが身近に感じられ、楽しくごみ問題に取り組めるように、絵本や紙芝居で啓発できればと思います。



## 生ごみの堆肥化

● 段ボール箱を使用して堆肥化を実践しています。できた堆肥は家で育てている花に使っています。最大の関心事は、生ごみをいかにうまく堆肥化するかとこのこと。環境やごみ問題の難しいことは分かりませんが、身近にできることからやっています。



市は、「始めよう！ごみの減量私から1人1日100g」を合い言葉にごみ減量の取り組みを進めています。

ごみ減量チャレンジ・モニターの皆さんはそれぞれ色々な方法でごみの減量を実践しています。今回は「手軽に」「楽しく」できる減量方法を教えてもらいました。また、ごみの減量に向けた思いなどを併せて紹介します。

## エコクッキング

● 子どもには食べ残しはしないように言っています。また、公民館で料理教室の講師をしています。食材を使い切る、洗い物はまとめて洗いを無駄にしないなど、エコクッキングに取り組んでいます。



● 野菜くずもスープやお好み焼きの具にして使い切ります。スイカの皮は浅漬けに。厚めにむいた野菜の皮を揚げたり、きんぴらにするとおいしくいただけます。買い物のときは、まとめ買いより個売りを利用して、必要量だけ買うようにしています。

## 簡易包装のスズメ

● 買い物にはマイバッグを持参してレジ袋はもらいません。割りばしなども断ります。ごみをできるだけ出さないよう、詰め替え商品を選び<sup>(\*)2</sup>、ビールはカンではなく、ビンビールを買っています<sup>(\*)3</sup>。以前は毎日行っていた買い物も、週に2回と決めて無駄なものを買わないようにしています。



## まとめ買いに要注意

● 余分な買い物をしてしまう心があります。食べ物は腐らせません。買いたくないもの、空腹時には買いたくないもの、メチを持参するのでもいい方法だと思っています。

各家庭で賞味期限が切れた後、食べられないままごみとして捨てられる<sup>(\*)4</sup>のが大変もったいないと感じます。多くの皆さんに考えてもらいたいです。

## 水切りの徹底

● 身近なことですが、物を大切にしながら減らす、生ごみはしっかり水を切ることをしています。

生活に密着したごみの問題は、誰かにしてもらおう、という考えでは解決しないのではないのでしょうか。まず自ら実行すること、地域に貢献しようという気持ちで日々取り組んでいます。



あらゆる人が自分にできることから取り組めるように、分りやすくごみの減量を伝えていきたいと思っています。



● 着られなくなった孫のお気に入りのTシャツで作った布ぞうり。着ていた本人にプレゼントすると喜んで使ってくれます。

## 古着の再使用

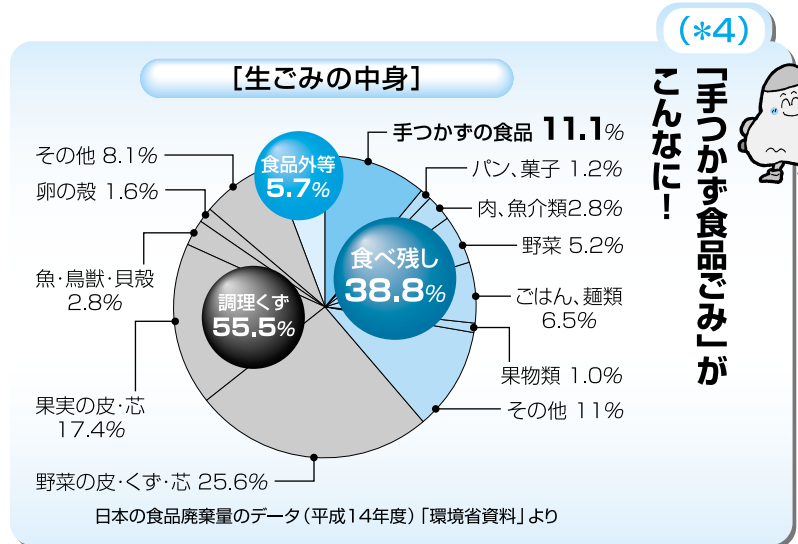
● 着られなくなった洋服で布ぞうりを作っています。へたでも自分たちで使うので愛着があります。子どもたちにも渡っています。

### 川西市のごみ減量の合い言葉

始めよう！  
ごみの減量 私から

1人1日 **100g**

川西市



(\*)4

「手つかず食品ごみ」が「こんな」



(\*)3

環境にやさしい「リターナブルビン」



リターナブルビンとは、洗って繰り返し使えるビンのことです。ビールビンや、牛乳ビン、一升ビン、などがあります。

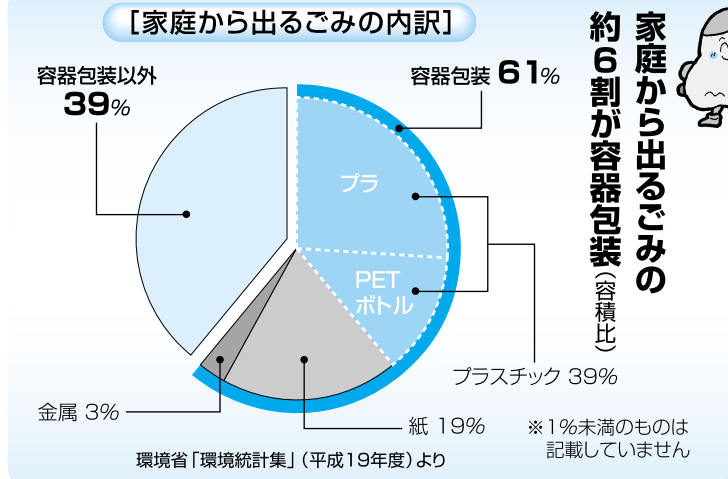
何回も繰り返し使えるビン(リターナブルビン)は購入店に返却しましょう

リターナブルビン

一升ビン、ビールビン、牛乳ビン

(\*)2

家庭から出るごみの約6割が容器包装(容積比)



(\*)1

リサイクル情報誌「り・ぼ・ん」を活用しよう



「り・ぼ・ん」は、ベビー用品、家具など譲りたいもの、探しているものの情報を掲載。毎月15日(土)発行で、市役所や公民館などに置いてあります。市のホームページにも掲載しています。

URL=<http://www.city.kawanishi.hyogo.jp/>

